

教育の特色

地域で育てるグローバルな人材

「世界を視野に、地域から始めよう」のスローガンのもと、宮崎大学では、地域をフィールドにして培った課題解決能力と実践的な語学力をそなえ、グローバルな視野で主体的に活躍できる人材を育てようとしています。このような人材を育成するために、学部段階の教育では教養教育と専門教育とが連続して展開されるように学士課程一貫の教育カリキュラムを構築しています。

教養教育における「導入科目」は、「大学教育入門セミナー」、「情報・データリテラシー」、「英語」、「専門接続系」の区分で構成し、大学で学ぶための心構えや自己の所属する教育課程の理解、高度情報化時代に対応できる情報処理能力、外国語コミュニケーション能力と専門教育において必要とされる英語運用能力、及び専門教育において必要とされる知識・技能を育成します。

「課題発見科目」は、「データサイエンス系」、「人文・社会・芸術系」、「自然・生命・技術系」、「地域・国際・学際系」の区分で構成され、本学の第4期中期目標「特定の専攻分野を通じて課題を設定して探究するという基本的な思考の枠組みを身に付けさせるとともに、視野を広げるために他分野の知見にも触れることで、幅広い教養も身に付けた人材を養成する」を達成するため、及びSTEAM教育プログラムを構築する上で中核となる科目群となっています。

「未来共創科目」は、「構想・デザイン系」と「協働・創造系」の区分で構成され、SPARCプログラムの中核となる科目群で、地域や世界を見る目や幅広く長期的な視点で社会課題に向き合う態度、及び地域をフィールドに様々なステークホルダーと連携したPBL（プロジェクト ベースドラニング）やアントレプレナーシップを通じて、学生同士だけではなく社会人や地域住民等と協働・共創する力、企業内・地域内の具体的な課題の解決策を提示する力を育成します。

異分野融合による教育

本学の教育の特色のひとつは、異なった分野の知識・視点・方法等を融合させることによって、新たな教育を展開している点にあります。平成28年度に新設された地域資源創成学部においては、マネジメントに関す

る専門知識と、社会・人文科学及び農学・工学分野の利活用技術の基礎知識によって編成された異分野融合のカリキュラムが構築され、ここでは単に地域を教育研究のフィールドとするだけでなく、地域の人々との協働教育や全県規模でのインターンシップ教育も実施しています。

大学院では、研究科ごとに特徴ある高度専門職業人の養成をめざした教育プログラムが用意されており、特に博士課程においては、農学と工学が融合した農学工学総合研究科（博士後期課程）、医学と獣医学が融合した医学獣医学総合研究科（平成26年度からは修士課程を併設）が、それぞれ全国に先駆けて創設されました。教職大学院（教職実践開発専攻）では、各教科等の領域が融合したカリキュラムが編成されています。

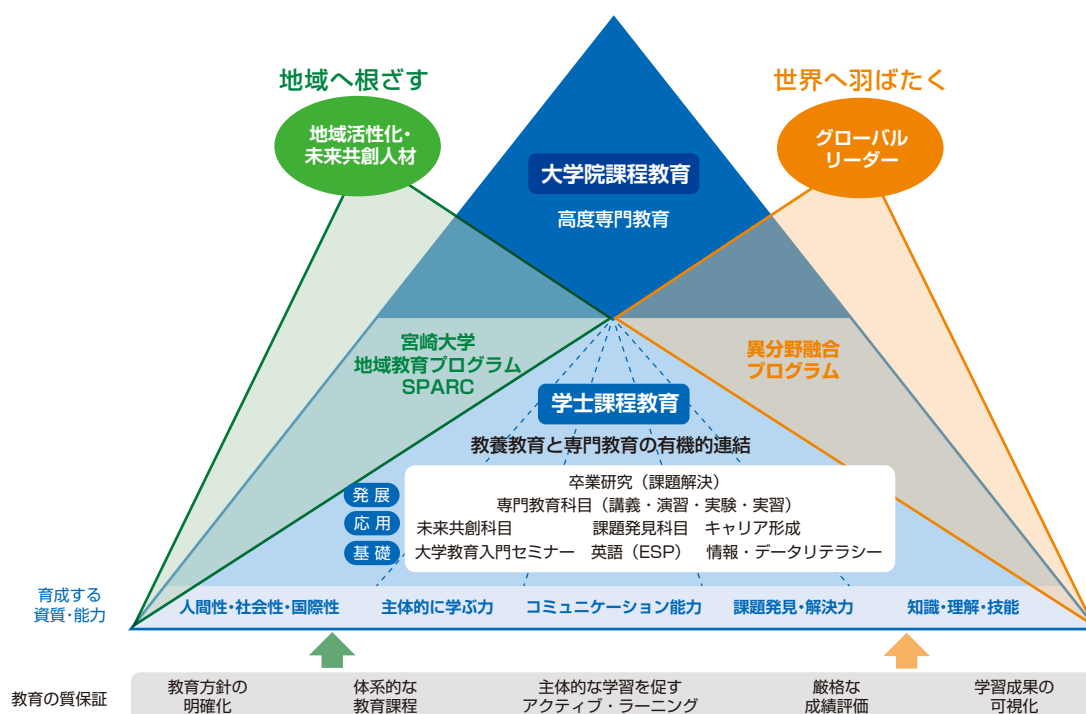
このように、旧来の縦割りの学問分野による教育ではなく、これまで領域を異にしていた分野を新たに融合させることによって、相互の研究や教育の質を向上させ、なおかつ、これまで手の届きにくかった融合領域に関して新たな研究成果や教育効果をもたらしています。異分野融合による教育・研究の成果は各学部の専門教育にも着実に活かされ、グローバルな人材を地域で育てるという本学のスローガンを実質的に支えています。

自立性を育てる学習環境の整備

サークル活動やボランティア活動、海外研修留学など、正規のカリキュラム以外での活動を通してさまざまな資質・能力を磨くことや、自己と社会との関わりについて考えを深めることも大学教育の重要なねらいのひとつです。本学では、学生のアイデアをビジネスプランとして練り上げる事業計画書（ビジネスプラン）とプレゼン力を審査する「宮崎・学生ビジネスプランコンテスト」を実施しており、学生の持つ問題意識や発想力、構想力、研究成果を活かしたチャレンジを支援しています。

また、ラーニングコモンズ等の自主学習の環境を整備しており、それらを利用した学生たち自身による自主的・自発的な学習活動も増えています。このように、本学では、自ら考え、行動できる自立した人材を育成するために自由に学ぶという理念に支えられた「学びやすい環境」を準備できるように取り組んでいます。

本学における学士・大学院教育の概念図



教育理念

宮崎大学は、「世界を視野に、地域から始めよう」のスローガンのもとに、人類の英知の結晶としての学術・文化に関する知的遺産の継承と発展、深奥なる学理の探究、地球環境の保全と学際的な生命科学の創造を目指し、変動する社会の多様な要請に応え得る人材を育成することを教育の理念として掲げています。本学では、これらの理念を具現化するために、以下の教育目標を掲げ充実した教育に取り組んでいます。

1. 人間性の教育

高い倫理性と責任感を育むとともに、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する。

2. 社会性・国際性の教育

地球規模の視野に立ち、社会の多様な要請に対応して、柔軟で論理的な思考力をもって、社会の発展に積極的に貢献できる社会性・国際性を涵養する。

3. 専門性の教育

新たな知の創造につながる専門教育を実施し、獲得した知識・技能を総合的に活用して、自ら発見した課題に適用し、解決する創造的思考力や態度を育成する。

宮崎大学の教育プロジェクト（令和7年7月現在）

教育プログラム採択状況等			
大学教育再生戦略推進費 ※1	期間	学部等	
新しい価値を創造し持続可能な地域づくりを牽引する「多様な未来共創人材」の育成プログラム	地域活性化人材育成事業～SPARC～	2022.4～2028.3	全学
地方と都市の地域特性を補完して地域枠と連動しながら広がる医師養成モデル事業 ～KANEHIROプログラム：病気を診ずして病人を診よ～	ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業	2022.4～2029.3	医学部
米国等との大学間交流形成支援	大学の世界展開力強化事業	2023.9～2028.3	全学
世界を視野に宮崎で拍動する循環器臨床研究プラットフォーム構築と連動した高度臨床研究医養成事業	高度医療人材養成拠点形成事業 (高度な臨床・研究能力を有する医師養成促進支援)	2024.8～2029.3	医学部

※1 中央教育審議会等で提言された政策課題に特化した誘導型の補助金であり、1.世界に誇れるトップレベルの教育研究活動を実施する大学の機能を飛躍的に高め、世界に発信していくことで、我が国の高等教育・学術研究のプレゼンス向上を図る事業、2.大学における革新的・先導的教育研究プログラムを開発・実施する取組や、迅速に実現すべきシステム改革を支援・普及することで、大学教育の充実と質の向上を図る事業を重点的に支援する。

JACME(ジャクミー) ※2	認定分野	期 間
医学部 医学科	医学教育分野	2019.6～2026.5

※2 日本医学教育評価機構。これに認定された教育プログラムは、医学教育の充実、向上を図り、我が国の保健、医療、福祉、衛生、並びに国際保健に貢献するために、必要な知識や能力の養成に成功していると国際的見地から評価されたこととなります。

JABEE(ジャビー) ※3	認定分野	期 間
工学部 工学科 土木環境工学プログラム (2020年度以前の入学生は、社会環境システム工学科)	土木及び関連の工学分野	2004.4～2025.3 中間審査受審中
工学部 工学科 機械知能工学プログラム ※4 (2020年度以前の入学生は、機械設計システム工学科)	機械及び関連の工学分野	2005.4～2026.3 ※4
工学部 工学科 半導体サイエンスプログラム (2020年度以前の入学生は、電子物理工学科/2024年度以前の入学生は、応用物理学プログラム)	物理・応用物理学及び関連のエンジニアリング分野	2017.4～2029.3
工学部 電気システム工学科	電気・電子及び関連の工学分野	2004.4～2027.3

※3 日本技術者教育認定機構。これに認定された教育プログラムは、教育活動の品質が国際的レベルにあることや、技術者として活動するために必要な最低限度の知識や能力の養成に成功していると評価されたこととなります。

※4 機械知能工学プログラムは2022年度入学生までが対象です。

教育プログラム名	数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度 ※5	期 間	学部等
宮崎大学データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシー）	リテラシーレベル	2022.4～2027.3	全学
	(リテラシーレベル) プラス	2022.4～2027.3	全学
宮崎大学データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎）	応用基礎レベル ※6	2023.4～2028.3	全学
	(応用基礎レベル) プラス	2024.4～2028.3	全学

※5 学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、それを適切に理解し活用する基礎的な能力（リテラシーレベル）や、課題を解決するための実践的な能力（応用基礎レベル）を育成するため、数理・データサイエンス・AIに関する知識及び技術について体系的な教育を行う大学等の正規の課程（教育プログラム）を文部科学大臣が認定及び選定して奨励する制度

※6 工学部用の教育プログラムは2022年4月から認定されている。

大学・高専機能強化支援事業 ※7	期 間	学部等
社会実装力・異分野融合力を有する高度情報専門人材育成「先端情報コース」新設と先端IT人材の地元定着	成長分野をけん引する大学・高専の機能強化に向けた基金による継続的支援（支援2）	2023.4～2032.3 工学研究科

※7 意欲ある大学・高専が成長分野への学部転換等の改革に予見可能性をもって踏み切れるよう、機動的かつ継続的な支援を行い、デジタル・グリーン等の成長分野をけん引する高度専門人材の育成に資することを目的とした文部科学省の基金。